

日本獣医がん学会 第5回臨時理事会（メール会議）議事録

日時：2020(令和2)年2月25日

場所：メール会議

決議日：2020年2月27日

出席者：（メール送信先）理事：石田卓夫、藤田道郎、杉山大樹、皆上大吾、武信行紀、高橋 雅、浅野和之、金井詠一、児玉和仁、小林哲也、井上 明、高木 哲、辻本 元、中川貴之、細谷謙次

監事 三宅龍二・水上浩一

議事録署名人：代表理事 石田卓夫 ㊟

監事：三宅龍二 ㊟ ・水上浩一 ㊟

議事録作成：事務局 福原

議事

審議事項

第一号議案：WVCC 完全中止案

現在、第4回メール理事会においてWVCC オンライン開催案をご審議いただいておりますが、皆様から様々な意見が寄せられておりますが、WVCC・国際情報委員会より新たにWVCCを完全に中止する案が提案されました(下記：資料1)。

現在の新型コロナウイルス感染症に関する状況は日に日に悪化しており、完全中止案は審議するに値すると思われれます。

したがって、第4回メール理事会で審議中のオンライン開催案は 議案撤回・審議打ち切りとし、新たに第5回メール理事会でWVCC 完全中止案の審議を行います。

ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

以上について、2020年2月29日正午までに御意見等を含め、事務局のメールアドレスに全員返信にてご返信を下さるようお願いいたします。

ご不明な点がございました場合は、杉山大樹までご連絡 ください。

なお、上記案について、期日までにご返信が頂けない場合は、会長一任とさせていただきます。

返信期限：2020年2月29日正午

返信先 : office@jvcs.jp

以上

◆資料1◆

WVCC 完全中止案

WVCC・国際情報委員会 委員長 小林 哲也

現在、新型コロナウイルス感染症を取り巻く情勢は日に日に厳戒態勢が強まり、2月23日にアメリカCDCは日本渡航に関する警告をレベル2に引き上げました。

また、日本国内でも感染者数は増加の一途であり終息の気配は見ておりません。

一旦はオンラインライブなどでの開催も試みましたが、現況を鑑み、完全中止することを提案いたします。

完全中止により大きな金銭的損害が発生しますので、理事会での審議をお願いいたします。

以下、開催中止案

- － WVCC は完全に中止(延期)とする
- － 事前登録ですでに徴収している参加費は全額返金する
- － 参加者の中には航空券や宿泊代などのキャンセル料が発生する人が多数いると思われる。

登録者の渡航費のキャンセル料を補填することはできないが、せめてもの特典として、予定していた keynote 講演などを期間限定でウェブ閲覧できるようにする。オンライン配信の可否を keynote speaker に交渉する。

- － 費用の損失は、会場費 1300 万円、クルーズ船 150 万円、講師旅費・キャンセル料 300 万円、その他 1000 万円程度。合計 2500～3000 万円程度の損失となる可能性あり。

以上

2019 年度第 5 回日本獣医がん学会 臨時理事会(メール会議)結果報告

2020 年 2 月 27 日

日本獣医がん学会会長 石田卓夫

第 5 回メール理事会でご審議の WVCC 中止(延期)案は、昨夜(2020 年 2 月 26 日)に、理事全員から賛成の投票を得た。審議終了前ではあるが、本案はできるだけ早期の公表が必要な事案にあたるため、現時点を持って審議を終了する。

ただし、本案のうち keynote 講演を配信する件は、複数の理事から反対意見があった。

よって、本案は部分可決とし、2020 年時点での WVCC 開催は完全に中止するという大筋の部分は可決とし、その旨を早期に公表し、その他の詳細な部分は改めて理事会で審議する。

本案の議決に関し、WVCC・国際情報委員会 小林委員長からメッセージ(資料 1)を添付する。

以上

WVCC 完全中止(延期)案早期議決の御礼

一般社団法人日本獣医がん学会
WVCC・国際情報委員会
委員長 小林哲也

この度は WVCC 中止(延期)案をご承認頂き誠にありがとうございました。
このように 早期議決に導けたことは、海外から参加の講師・参加者にとって非常に有益なことであり、委員長として御礼申し上げます。

8年以上前から準備してきた世界大会を中止(延期)にするには、様々な葛藤がございました。世界中から、WVCC の参加をとっても楽しみにしているというメールもたくさん頂いていた矢先です。その一報で、未曾有の感染症が世界を襲い、学会の開催どころではない現状に我々は直面しています。日本政府からの通達もあり、WVCC 開催の中止(延期)は やむを得ないとは言え、WVCC 参加予定者および日本獣医がん学会の会員には、これからも多大なご迷惑および金銭的負担を強いることとなります。

たとえば、国内外から参加を予定していた方々の多くは、現在までに航空券やホテルの手配は済んでいることと推察します。ホテルのキャンセルは比較的流動的ですが、既に払込んでしまった航空券のキャンセル料は、個人負担になる可能性がございます。また、約 3,000 万円の赤字は、日本獣医がん学会の貯蓄、すなわち約 2,600 名の会員ひとりあたり 1 万円強の負担を強いることにもなってしまいます。その他、ハンドアウトやスライドを既にご用意頂いたキーノートスピーカーの皆様や、ブースをご準備頂いた協賛企業の方々など、とても多くの方々に直接的あるいは間接的なご迷惑をお掛けすることになってしまいます。

「このような情勢なのだから仕方ない」と言い切ってしまうことも可能ですが、それでは、WVCC 委員会が今まで最も大切にしてきたこと、「世界に感動と最高のおもてなしを」という行動規範にそぐいません。登録費および企業協賛金の全額返金を最低ラインに 協議していますが、それに加え、WVCC に登録して下さった約 650 名の皆様および日本獣医がん学会の会員の皆様に、何らかの「おもてなし企画」を現在考えています。

「おもてなし企画」に関しては WVCC 委員会で現在協議中です。委員会内でもう少し詳細および必要な予算を検討してから、理事会にご提案したく存じます。